学校番号	２２０１

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２	年次	1
使用教科書	「改訂版　数学Ａ Standard」（東京書籍）						
副教材等	改訂版　ＷＲＩＴＥ　数学Ａ　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

確率や整数、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め，それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を身につけてください。
授業のみならず家庭学習でも努力する意識を持って履修してください。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)　図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。
(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察することができる。 ・不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ・数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察することができる。	・数学のよさを認識し数学を活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	1章　場合の数と確率	1節　集合と場合の数 数え上げの原則と集合の要素の個数 順列 組合せ 2節　確率とその基本性質 事象と確率 確率の基本性質 3節　いろいろな確率 独立な試行の確率 反復試行の確率 条件付き確率 期待値	a:・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 b:・事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりすることができる。 c:・場合の数と確率で学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・場合の数と確率で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。	小テスト ﾌﾟﾚ定期考査 定期考査	ﾉｰﾄ提出 授業態度 ﾌﾟﾚ定期考査 定期考査	ﾉｰﾄ提出 課題提出 授業態度
後期	2章　図形の性質	1節　三角形と比 三角形と比 三角形の外心･内心･重心 三角形の比の定理 2節　円の性質 円の性質 方べきの定理 2つの円 作図の方法の考察 3節　空間図形 空間における 2 直線･2 平面の関係 直線と平面の関係	a:・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 b:・図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 c:・図形の性質で学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・図形の性質で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。	小テスト ﾌﾟﾚ定期考査 定期考査	ﾉｰﾄ提出 授業態度 ﾌﾟﾚ定期考査 定期考査	ﾉｰﾄ提出 課題提出 授業態度
前期	3章　数学と人間の活動	1節　数える 数との出会い 数の拡張 2節　はかる 時間を計る 空間を測る 3節　遊ぶ 数学パズルで遊ぶ 和算で遊ぶ	a:・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解している。 ・数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関わりについての理解を深めている。 b:・数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。 ・パズルなどに数学的な要素を見いだし，目的に応じて数学を活用して考察することができる。 c:・数学と人間の活動で学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・数学と人間の活動で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。	小テスト ﾌﾟﾚ定期考査 定期考査	ﾉｰﾄ提出 授業態度 ﾌﾟﾚ定期考査 定期考査	ﾉｰﾄ提出 課題提出 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度